

今昔

交通の要所に設けられた
流通拠点、熱田魚市場

※現在地の住所と現況写真の撮影地は、資料に基づき推定したものです。
※左の絵は原本を一部加工、着色しています。

この絵は、尾張名所図会に描かれた江戸時代の熱田魚市場の風景です。熱田魚市場の創始時期は定かではありませんが、七里の渡し付近の神戸の海辺に小屋を作って魚類の集散を行っていたものが、後の魚市場に発展したと考えられています。織田信長が清須在城の頃(1555～1562年)すでに数軒の魚問屋があって、毎日、魚類を清須へ運んでいたといわれています。

寛永10(1633)年に、木之免・大瀬子に魚市場が設けられ、問屋は尾張藩の用達を勤めました。享和2(1802)年には独占的地位を与えられ、魚類は必ず問屋を経て市場で売買されました。天保3(1832)年頃からは、漁民が捕獲した魚を船で買い回り、市場へ回船して問屋へ売る者が



堀川の向こう岸は、新田開発、港築造によりその姿を変えた



熱田魚市場跡地の大瀬子公園内に設けられたレリーフ

現れて大いに繁盛することになりました。更には押し送り船と称する業者が登場し、遠国の魚類を買収して問屋に送り届ける方法がとられたことにより、熱田魚市場には伊勢、三河などからいろいろな魚が集まるようになっていきました。このことを尾張名所図会は次のように記しています。

…年中朝市夕市とて一日に二度づつ市をなせり 億兆の魚介をここに湊へて、国産の海魚はもとより、近国遠国よりも船積にて運送し…

昭和24(1949)年、名古屋市中央卸売市場(熱田区日比野)の開場により市場は統合され、熱田魚市場は姿を消し、跡地は公園として市民に親しまれています。

2010年10月1日から
ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋に
新しく生まれ変わります。

正メインロビー(改築イメージ図)

ご予約・お問い合わせ ☎ 052-683-4111 (代)

全日空ホテルズ ホテルグランコート名古屋

http://www.grandcourt.co.jp

JR・名鉄・地下鉄「金山」駅南口すぐ

総合スタッフサービス

- 人材派遣 ■アウトソーシング
- コンベンション事業
- 通訳 ■翻訳

<http://www.congre.co.jp/>



TEL 052-950-3369

株式会社 コングレ